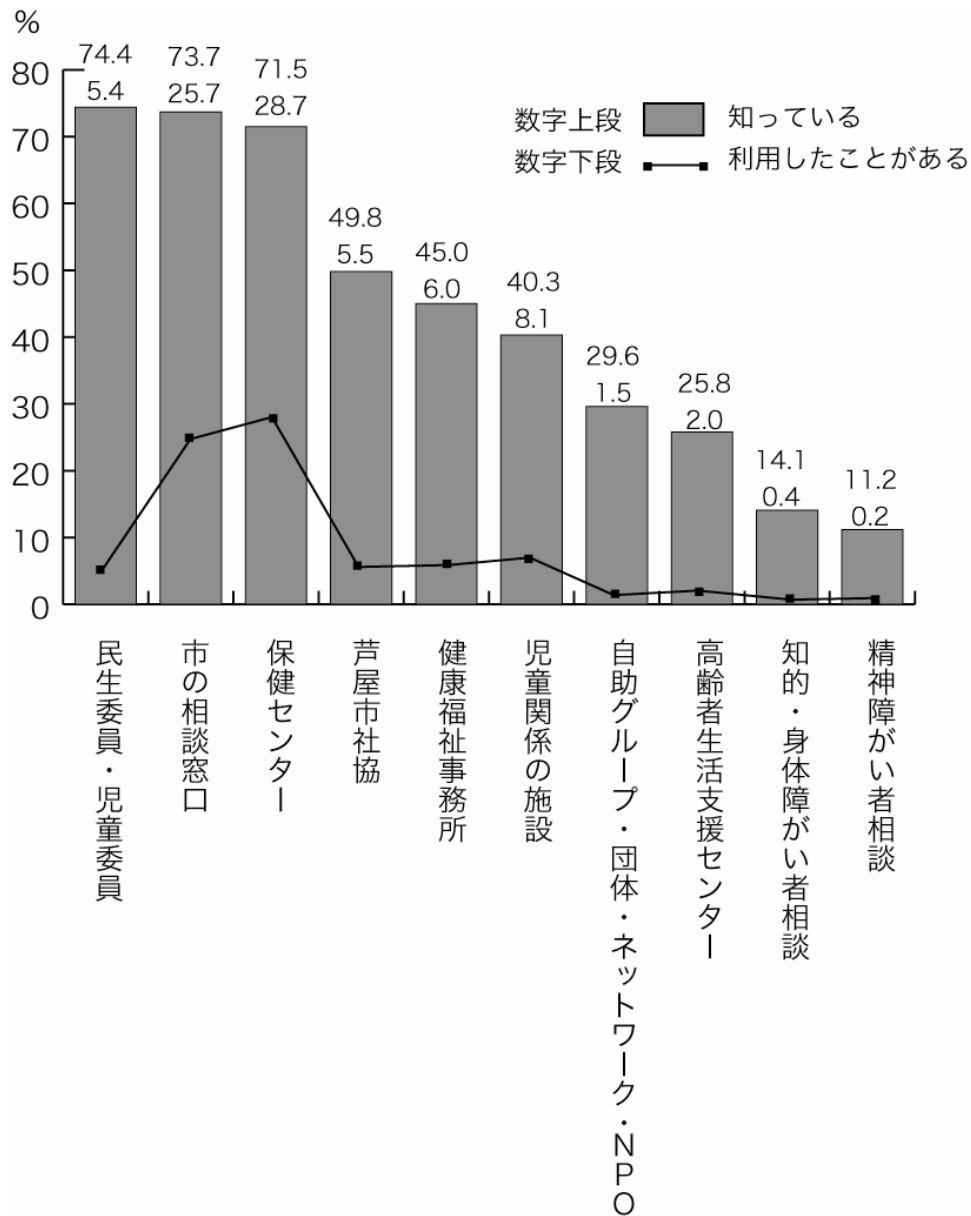


問12 あなたは次の福祉相談窓口等を知っていますか、また利用したことがありますか。

福祉の相談窓口について

「民生委員・児童委員」「市の相談窓口」「保健センター」については、いずれも約70%の方が知っているという回答でした。

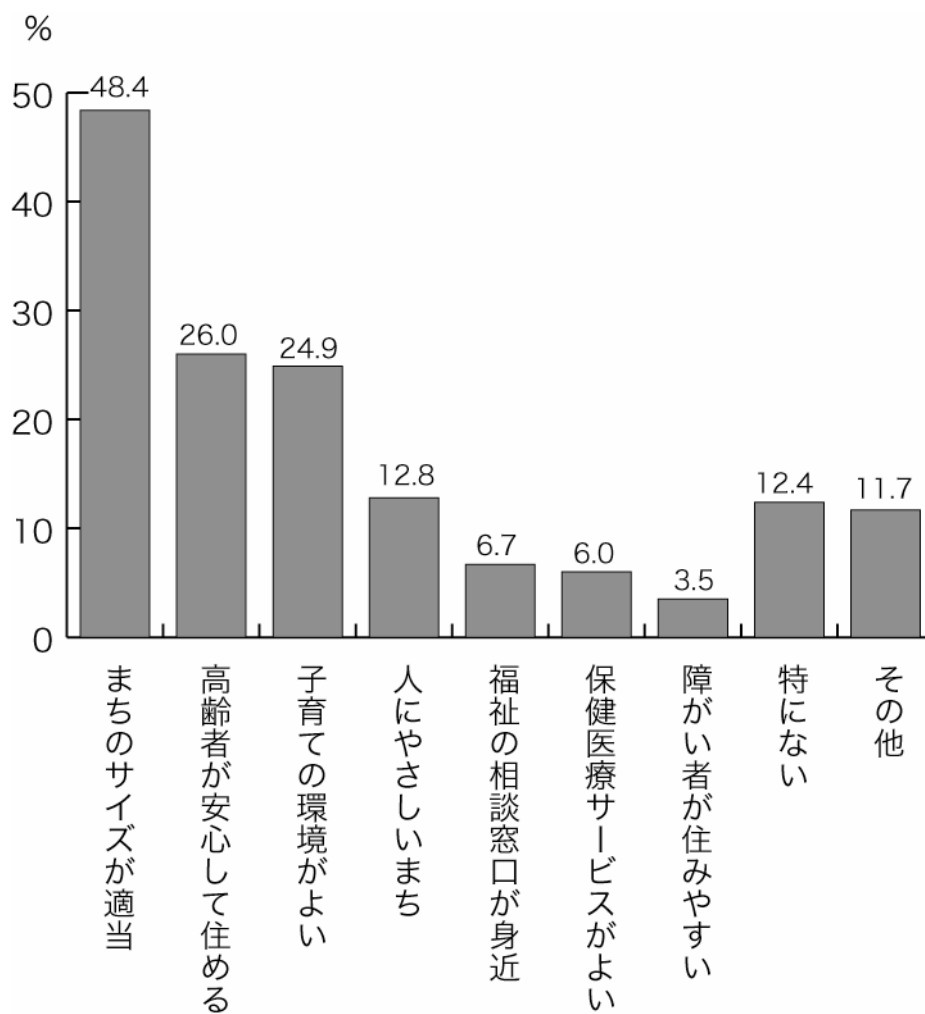
また、利用については、「保健センター」が28.7%、「市の相談窓口」が25.7%の方が利用したことがあると回答しています。その他の相談窓口の利用経験は少なく、よく知られている「民生委員・児童委員」も5.4%でした。



問13 段の暮らしの中で、あなたが芦屋のよいところだと思うことは何ですか。(複数回答可)

芦屋のよいところだと思うことについて

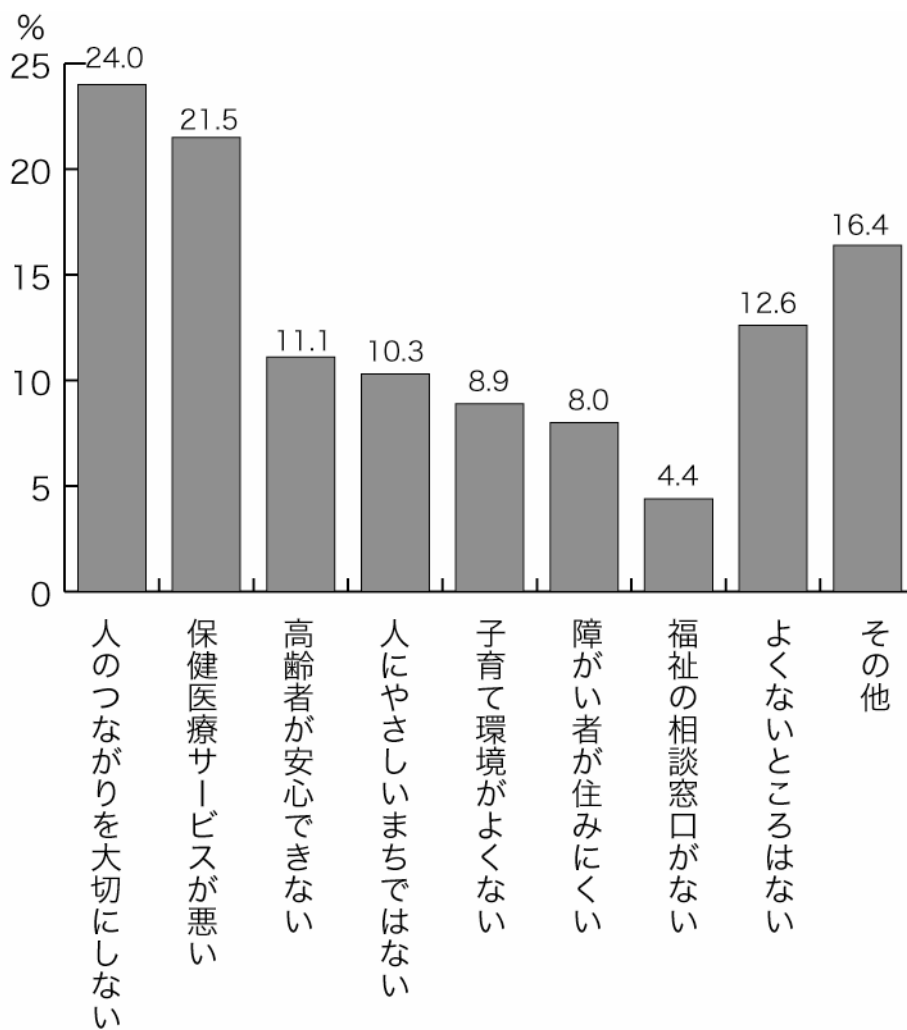
48.4%の方が、「まちのサイズが適当」と回答しています。次に多いのは、「高齢者が安心して住める」26.0%、「子育ての環境がよい」24.9%でした。



問 14 逆に芦屋のまちのよくないと思うことは何ですか。(複数回答可)

芦屋のまちのよくないと思うことについて

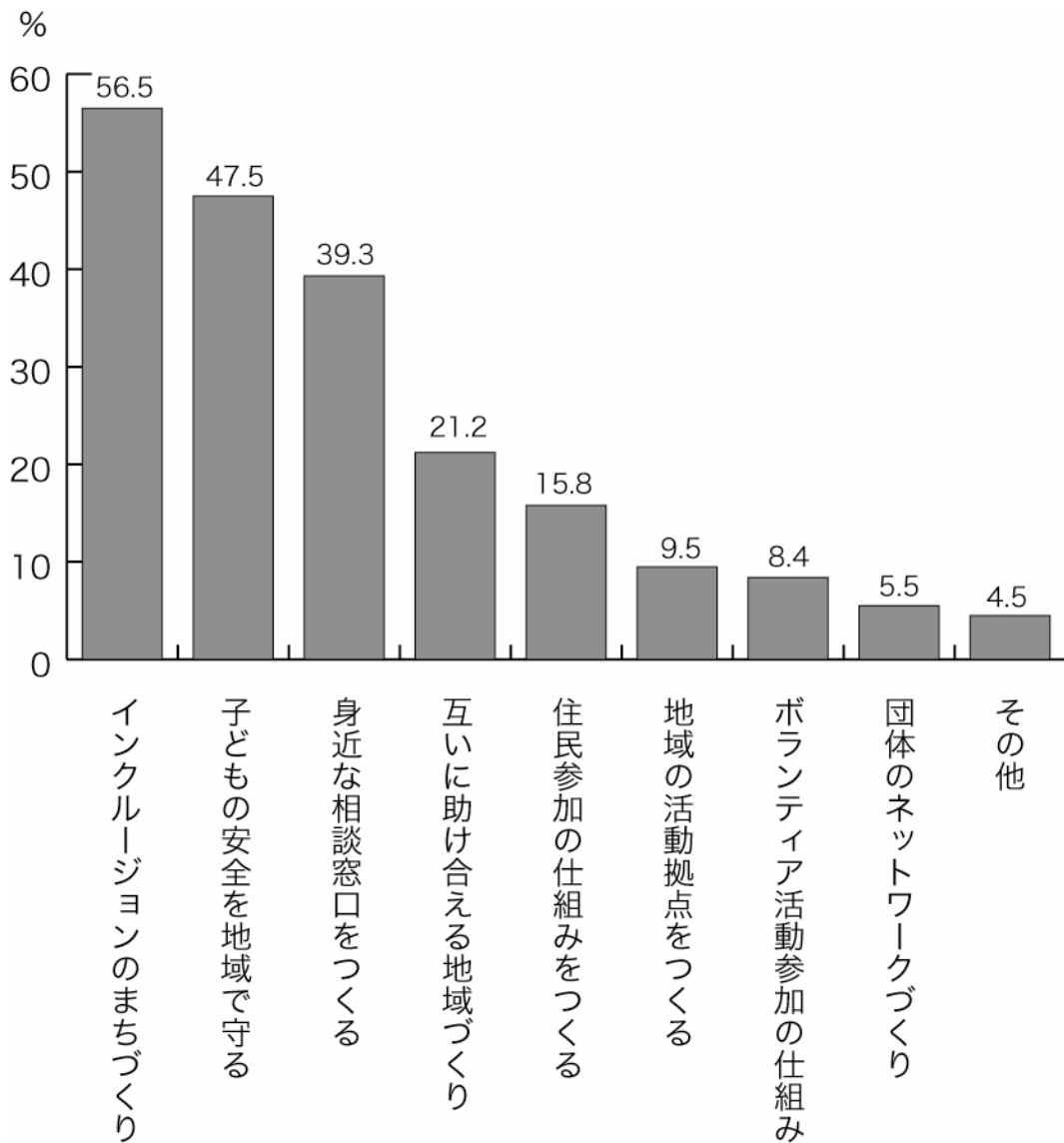
「人のつながりを大切にしない」は24.0%、「保健医療サービスが悪い」は21.5%でしたが、他はほぼ10%程度の回答でした。



問15 今後の芦屋のまちづくりで大切にしていきたいと思います。 (回答は3つ以内)

今後の芦屋のまちづくりで大切にしていきたいと思います。 (回答は3つ以内)

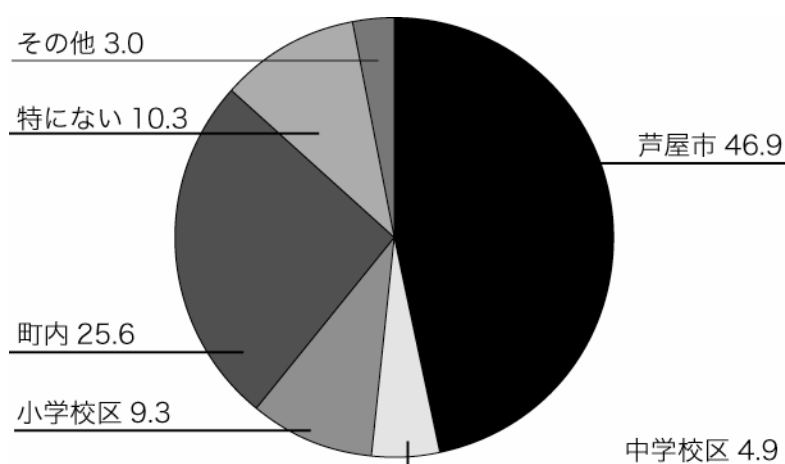
「誰もが住み慣れた地域で暮らしていけるインクルージョンのまちづくり」が56.5%と最も多く、次いで「子どもの安全をみんなで守る地域づくり」47.5%、「身近な相談窓口をつくる」39.3%となりました。



問16 あなたが「自分のまち」と感じているのはどの範囲ですか。あなたのお気持ちに一番近い答えを1つお選びください。

あなたが「自分のまち」と感じる範囲について

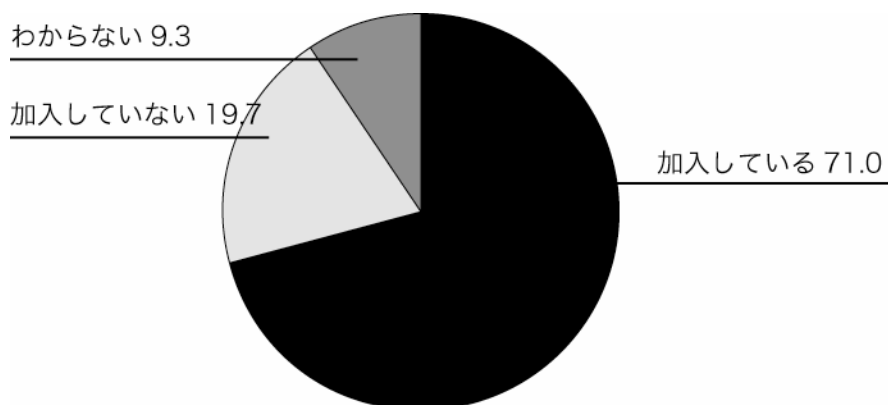
46.9%が「芦屋市」と回答しているが、次は「自分の住む町内」25.6%となっており、町内からいきなり市全体へまち意識が一気にとんでいることがうかがえました。地域コミュニティの横の連携の状況を表しているともいえます。



問17 あなたは自治会に加入していますか。

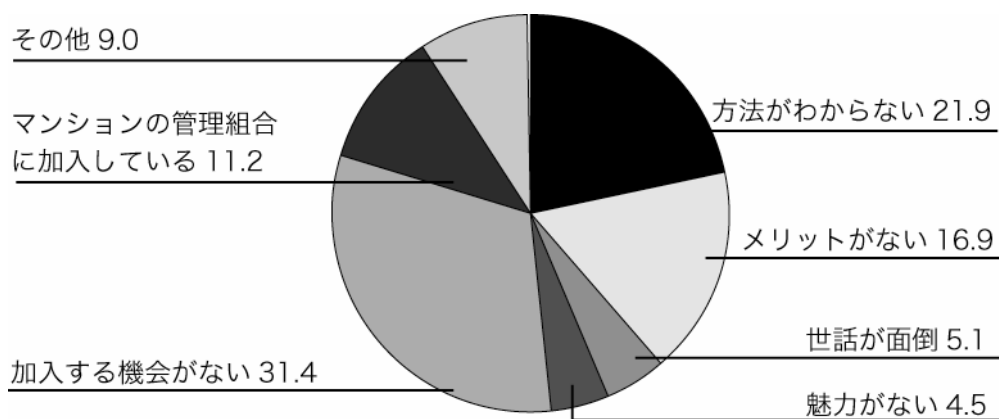
自治会への加入について

「加入している」が71.0%、「加入していない」が19.7%、「加入しているかどうか分からない」も9.3%ありました。



加入しない理由について

多いものから順に「加入する機会がない」31.4%、「加入方法がわからない」21.9%、「加入するメリットがない」16.9%となりました。また、「マンションの管理組合に加入しているから」という回答も11.2%ありました。

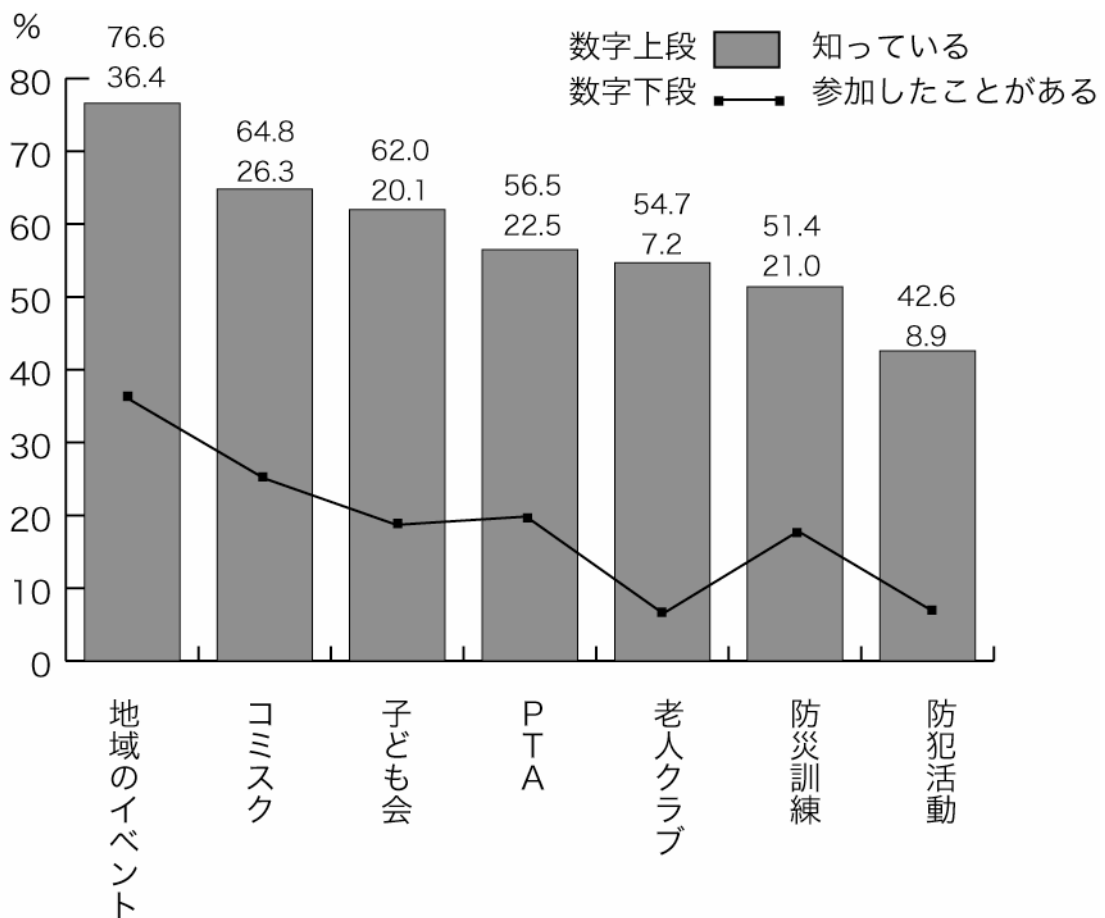


問 18 あなたがお住まいの地域で行われている行事や活動についてお答えください。

地域行事や地域活動の認知度と参加について

地域の行事や活動でよく知られているのは、多いものから順に、「秋祭りなどの地域のイベント」76.6%、「コミスク」64.8%、「子ども会」62%、「PTA」56.5%、「老人クラブ」54.7%でした。

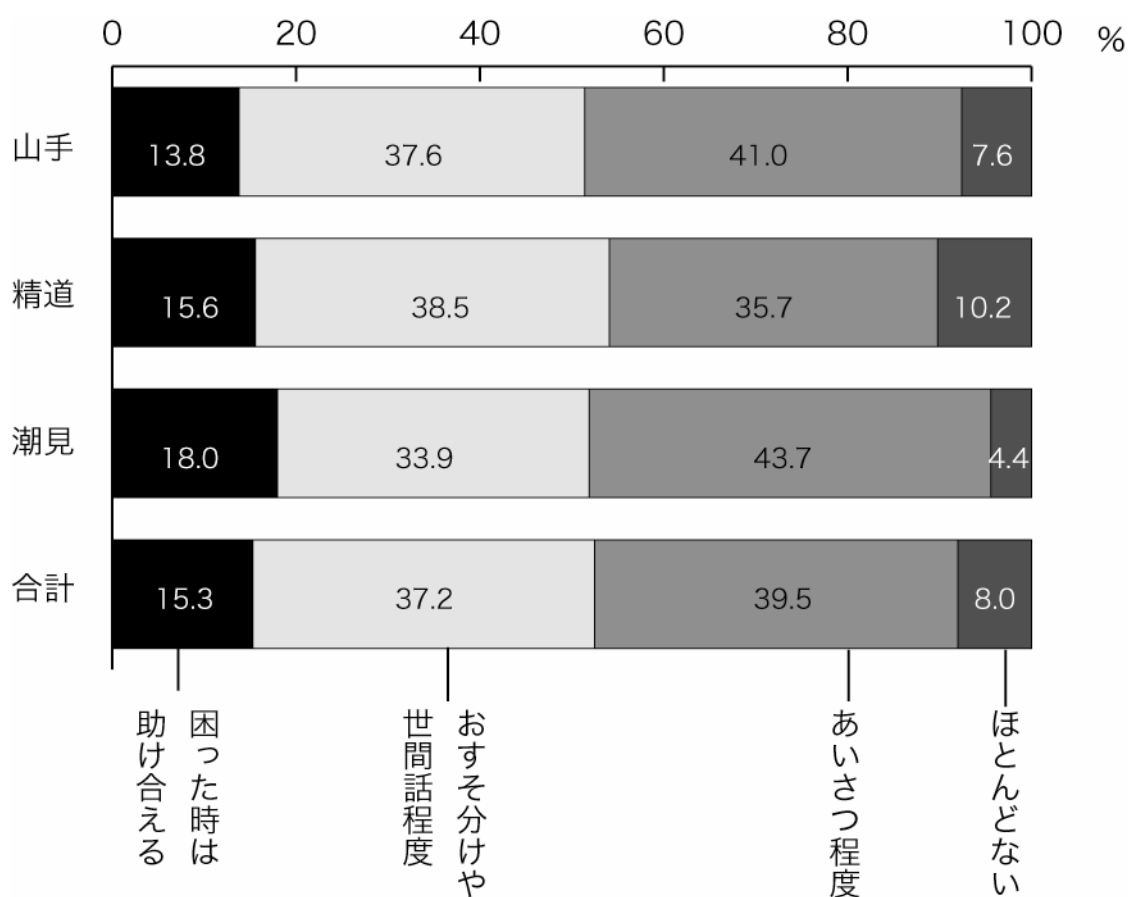
また、参加したことがあるのは、「秋祭りなど地域のイベント」が36.4%で最も多く、次いで「コミスク」26.3%、「PTA」22.5%となりました。



問 19 あなたは近隣にどの程度のお付き合いの方がいますか。(単数回答)

近隣との付き合いの程度について

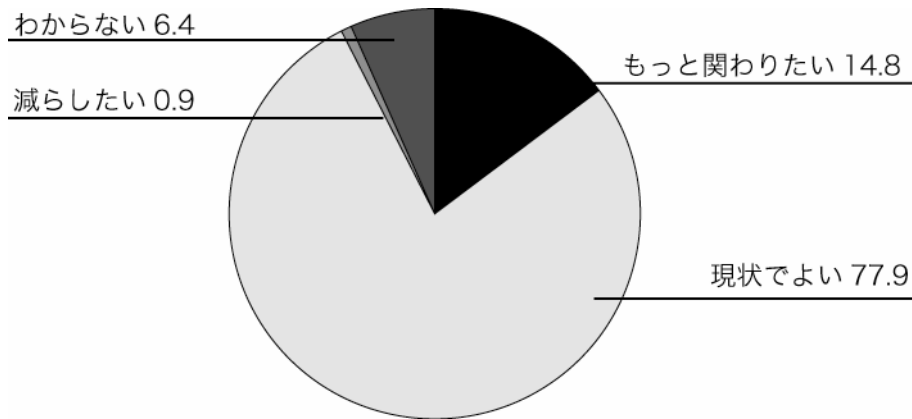
「あいさつ程度」が 39.5%で最も多く、次いで「おすそ分けや世間話程度」が 37.2%、「困った時は助け合える」関係は 15.3%でした。



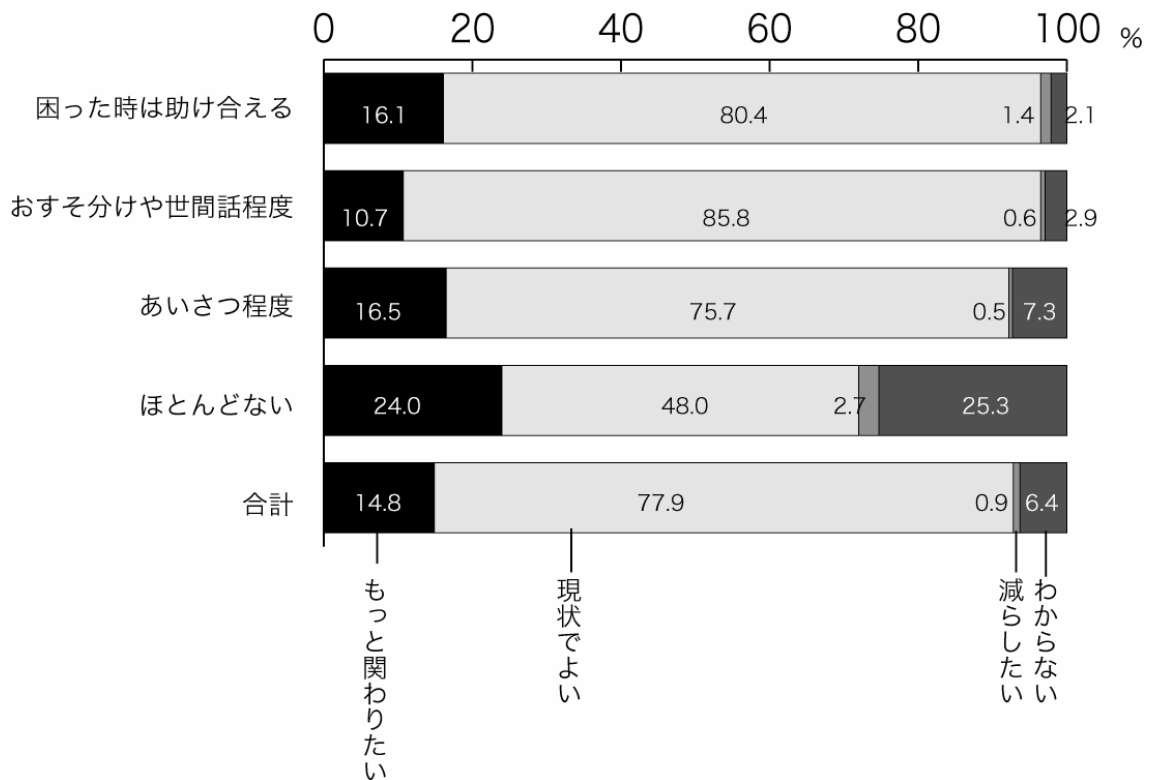
問 20 あなたは近隣や地域ともっと緊密に関わりたいと思いますか。（単数回答）

近隣との付き合いをどう思うかについて

77.9%の方が近隣とのつきあいは「現状でよい」と回答しており、「もっと関わりたい」は14.8%、「減らしたい」人は0.9%でした。



近隣との付き合いの程度と関わりたいと思うかどうか

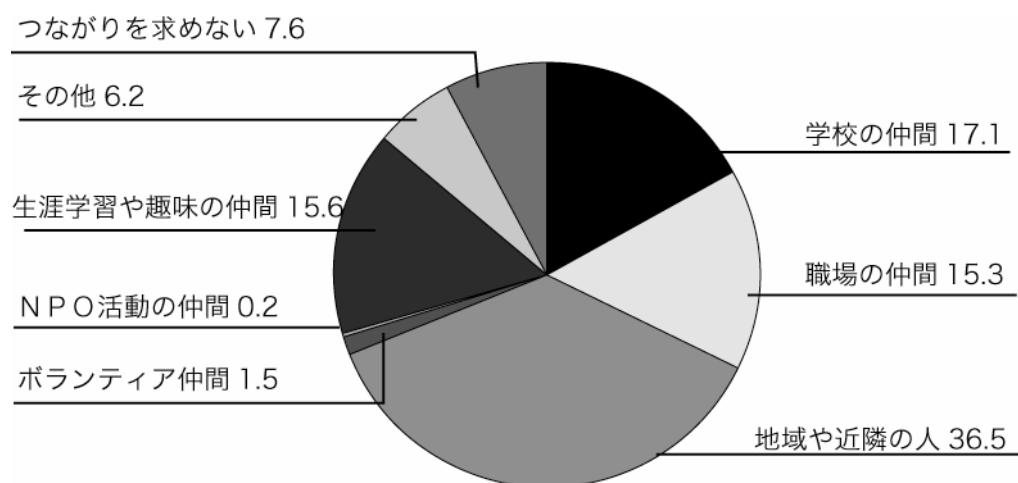


問21 人とのつながりの中で、あなたは家族以外で誰とのつながりを大切にしますか。
(最も大切にすることを1つ)

家族以外で最も大切にしている人とのつながりについて

多いものから順に、「地域や近隣の人」36.5%、「学校の仲間」17.1%、「生涯学習や趣味の仲間」15.6%、「職場の仲間」15.3%となりました。

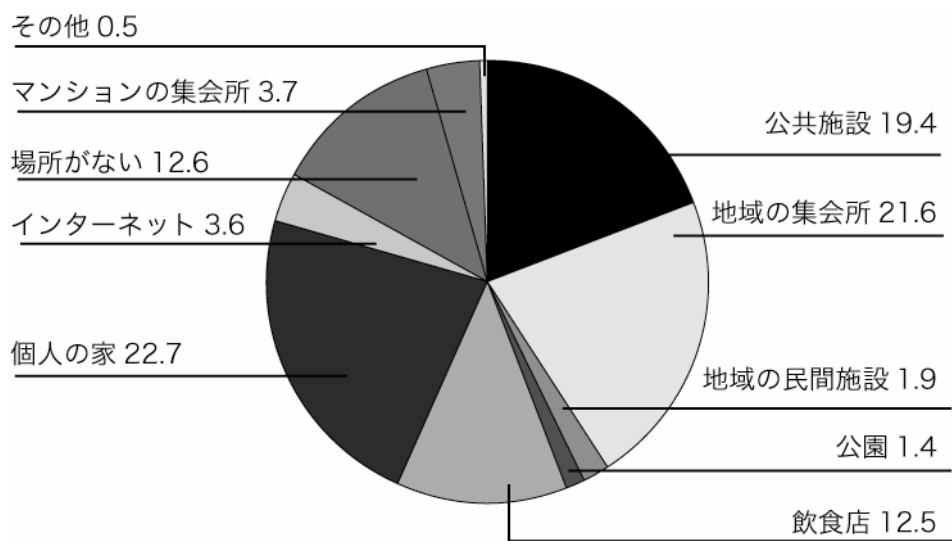
「つながりを求めない」という人は7.6%でした。



問22 あなたの普段の生活の中で、ちょっと気になることがあったり、ちょっと困ったことが起こったとき誰かと集まって相談できるような場所をもし求めるとすれば、それはどこですか。（単数回答）

集いの場について

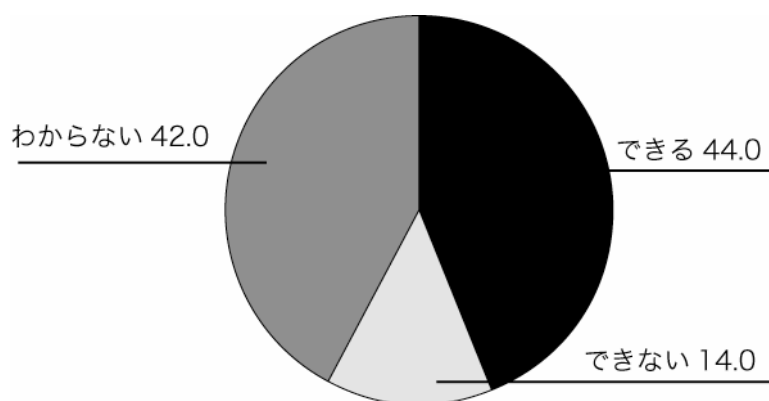
普段の生活の中で、ちょっと気になることがあったり、ちょっと困ったことが起こったとき、誰かと集まって相談できるような場所は、「個人の家」22.7%、「地域の集会所」21.6%、「公共施設」19.4%となり、公的な拠点をあわせると41%でした。



問23 災害時に避難等の手助けを必要としている方について、あなたは地域の人や自主防災会などの地域組織と協力して避難等の手助けができますか。(単数回答)

災害時に避難等の手助けについて

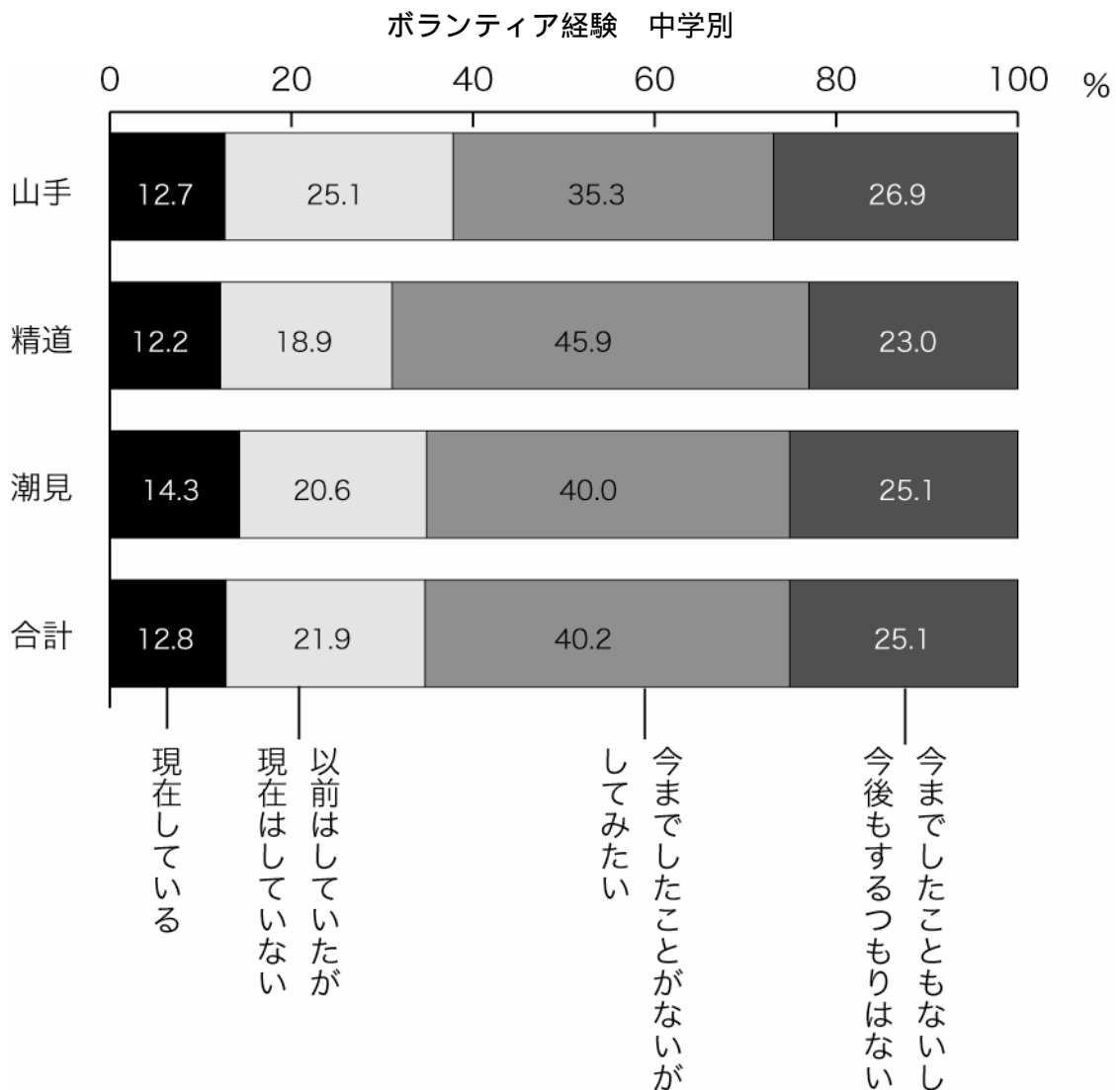
地域の人や自主防災会などの地域組織と協力して避難等の手助けが「できる」と答えた方は 44.0%、「わからない」42.0%、「できない」14.0%となりました。具体的な仕組みや方法があれば、多くの方が何かの手助けができる可能性を示しています。



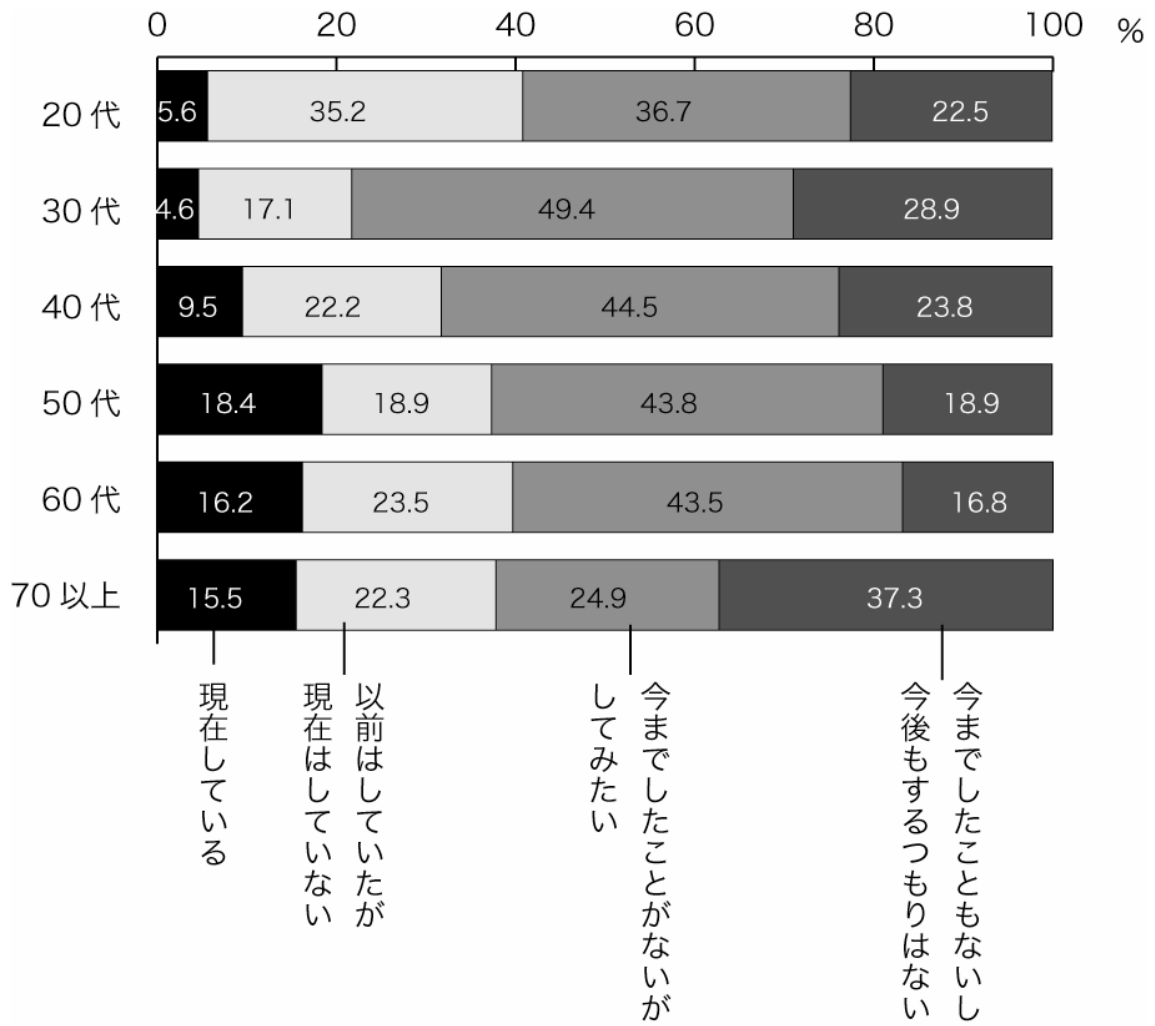
問24 あなたはボランティア活動をしたことがありますか。（単数回答）

ボランティア活動の経験について

「今までしたことがないが今後してみたい」が最も多く40.2%、「今後もするつもりはない」が25.1%、「以前はしていたが、現在はしていない」21.9%、「現在している」は12.8%でした。「今後してみたい」の回答は、30代から50代で高くなっています。



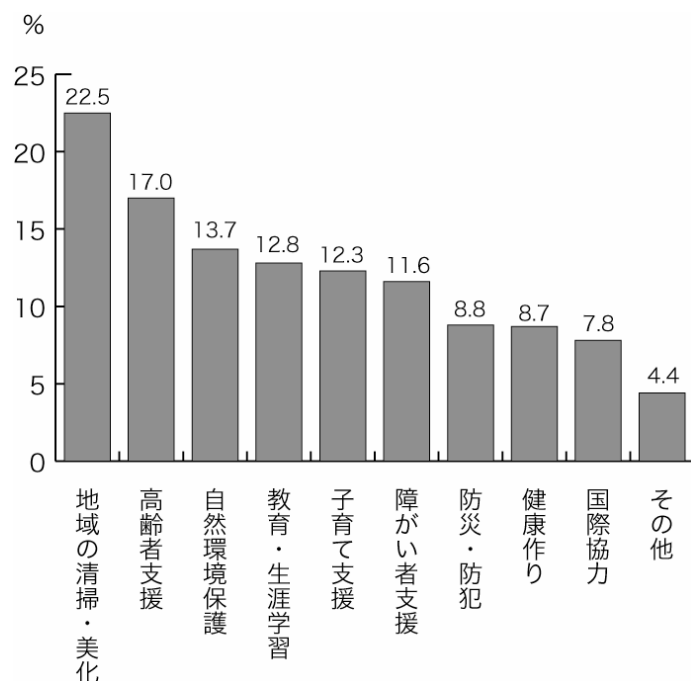
ボランティア経験 年齢別



問 25 それ（ボランティア活動）は主に次のどの分野での活動ですか。また、主な活動場所はどこですか。（回答は3つ以内）

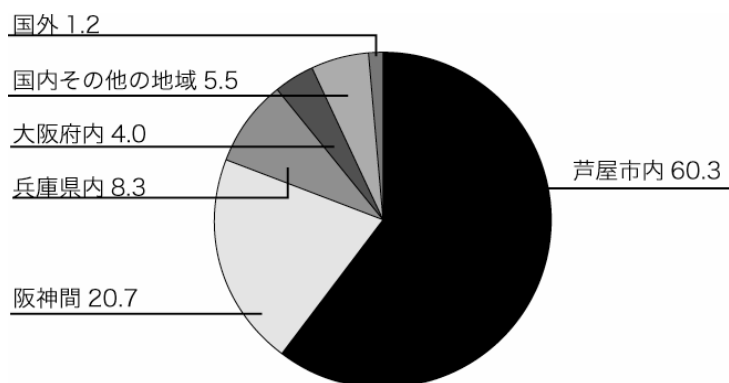
<活動分野>

活動している人、今後したい人の分野内容は、多いものから「地域の清掃・美化」「高齢者支援」、次いで「自然環境保護」「教育・生涯学習」「子育て支援」「障がいのある人の支援」となりました。



<活動場所>

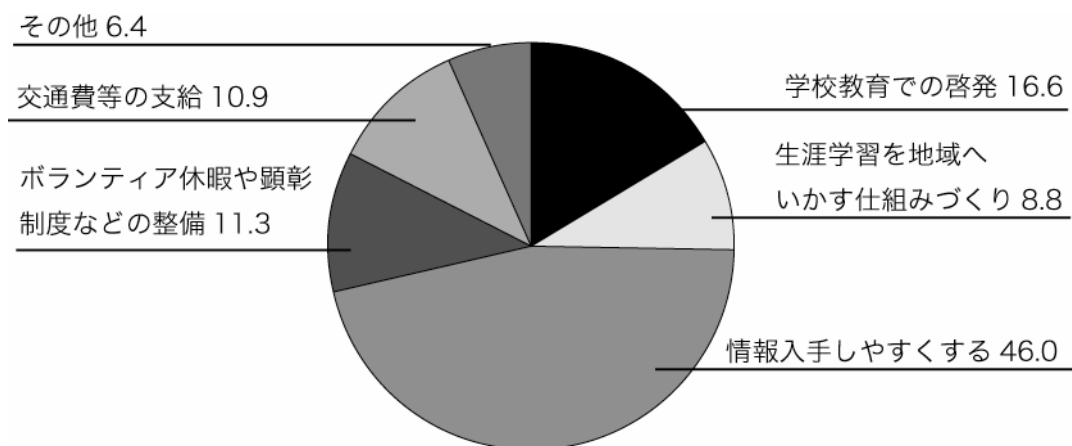
60.3%が芦屋市内での活動で、次いで阪神間が 20.7%となり、身近な地域で活動している人が多いことがわかります。



問26 どういう条件を整えばボランティア活動が活発になると思いますか。(単数回答)

ボランティア活動が活発になる条件について

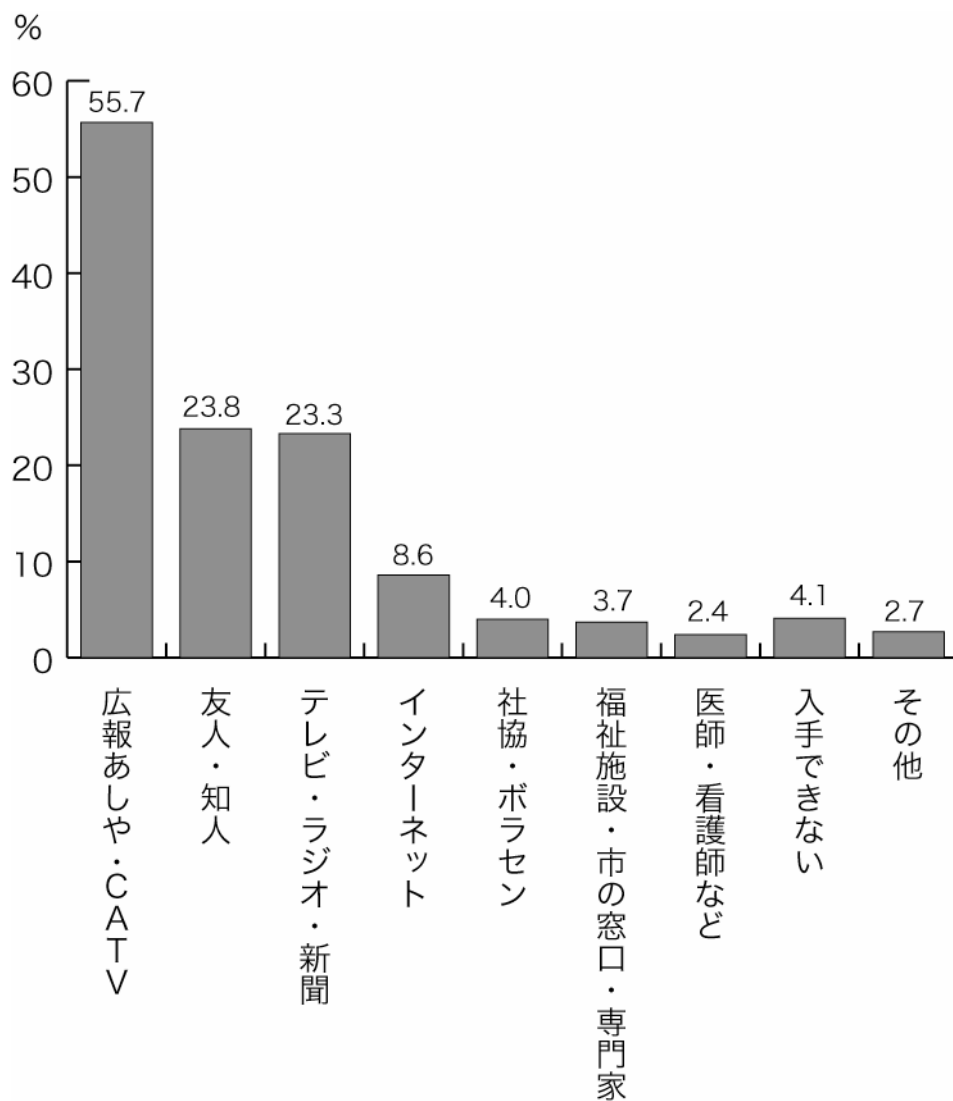
「情報入手しやすくする」が46.0%で最も多く、「学校教育での啓発」16.6%が続きました。



問27 ボランティア活動に関する情報はどのように入手していますか。(回答は3つ以内)

ボランティア活動に関する情報の入手

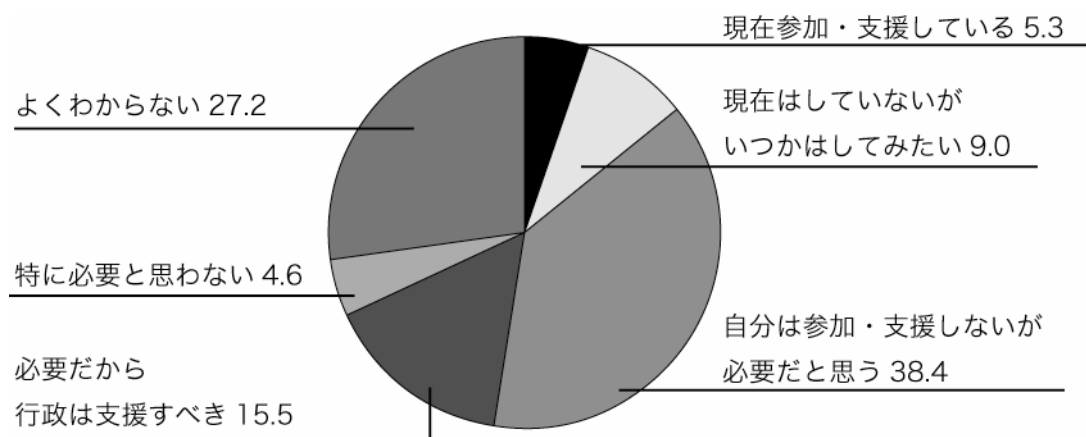
「広報あしや・CATV」が55.7%、「テレビ・ラジオ・新聞」が23.3%、「友人知人」が23.8%で、公的情報，マスメディア，口コミの3つが有力な情報入手の方法になっている実情がうかがえます。「入手できない」の回答も4.1%あり，情報入手のための環境がまだ十分に整っていないこともうかがえます。



問28 最近はNPO法人（特定非営利活動法人）の設立が増えていますが，あなたは
このことについてどう思いますか。（単数回答）

NPO法人（特定非営利活動法人）について

「自分は参加も支援もしないが，必要だ」38.4%，「必要だから行政は支援すべきだ」15.5%をあわせると，過半数が「必要」と回答しています。NPOに「現在参加・支援している」と「いつかは参加してみたい」があわせて14.3%ある一方，「必要と思わない」は4.6%，「よくわからない」という人も27.2%あり，NPOがまだよく理解されていない現状もうかがえます。



平成18年8月

市民の皆様へ

地域福祉に関する市民意識調査

芦屋市保健福祉部

調査ご協力をお願い

皆様には日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、平成18年度に地域福祉計画を策定することになっており、これに先立って、平成17年度には芦屋市地域福祉市民会議を開催し、福祉のまちづくりについでに市民委員の意見をまとめたところです。

地域福祉計画は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすための仕組みや方向性、また、それらを実現するために住民、福祉事業者、行政がどのように役割分担し、協力しながら進めていけばよいのかなど、地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める指針となる計画です。

この調査は、広く市民の皆様のお考えをお聞きし、より芦屋らしさを活かした地域福祉計画をつくり、今後の施策に活かしていくことを目的に実施いたします。

この調査にご協力をお願いするのは、芦屋市内にお住まいの20歳以上の方の中から、無作為に選ばせていただいた2,500人の方です。

ご回答いただきました内容は、調査としての結果をまとめ、施策の参考にする他には使用いたしません。また、回答者個人を特定することはありませんので、ありのままのお気持ちをお答えください。

なお、調査用紙は一定期間芦屋市で保管し、期間終了後は廃棄します。

お忙しいところ誠にお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

記入にあたってのお願い

- 1 この調査は、あなた自身のお考えをお答えください。
- 2 問1の回答は、第1順位から第3順位まで□内に番号をご記入ください。
- 3 問1以外の回答は、質問に従って、該当の数字又は記号に をつけてください。
- 4 回答で「その他」を選ばれた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 5 質問項目で答えたくないものについては、空欄で結構です。
- 6 この調査用紙(居住地の中学校区ごとに色を分けています。)は、同封の返送用封筒に入れて8月16日(水)までに投函してください。
- 7 ご記入にあたり、ご不明の点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】

芦屋市保健福祉部総務課

電話 0797-38-2040 / FAX 0797-38-2160